

Lesson 1

Build-up

A 平叙文（肯定文と否定文）

平叙文とは？

話し手が事実や自分の考えを述べて、情報を伝達する文。普通は＜主語＋動詞＞の語順になり、文章ではピリオドで終わる。

1. I am a student.

2. I play tennis.

B 疑問文

Yes/No 疑問文

Yes/No 疑問文は、答えとして Yes か No を求める疑問文で、be 動詞または助動詞を文頭に出して作る。

Yes/No 疑問文の文尾は上がり調子で言うのがふつう。

3. "Is he a student?" "Yes, he is." / "No, he isn't."

4. "Do you play tennis?" "Yes, I do." / "No, I don't."

疑問詞で始まる疑問文

疑問詞には、who、what、which、when、where、why、how があって、「だれ？」「何？」のような具体的な情報を求めるときに使う。

疑問詞を使った疑問文の文尾は下がり調子で言うのがふつう。

5. "What did you buy?" "I bought a T-shirt."

6. "Who plays the hero?" "Mike does."

C 命令文

相手に何らかの行動を直接求めるときは、動詞の原形で文を始める。

「～するな」という禁止の意味を表すには、「Don't [Do not] + 動詞の原形」の形を用いる。

7. Be careful.

8. Don't be late.

9. Let's go shopping.

D 感嘆文

何かに強い印象を受けて、そのことを強調して表したいときに使う文のことを感嘆文という。

形容詞の意味を強調したい場合、「How + 形容詞 + 主語 + 動詞」という語順になる。

副詞の意味を強調したい場合、「How + 副詞 + 主語 + 動詞」という語順になる。

形容詞+名詞の意味を強調したい場合、「What (a/an) + 形容詞 + 名詞 + 主語 + 動詞」という語順になる。

10. How beautiful this house is!

11. What a beautiful house this is!